

2019年3月期

第2四半期決算説明会

ウシオ電機株式会社

2018年10月31日

<免責事項>本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

The logo for Ushio Group, consisting of the word "USHIO" in a bold, white, sans-serif font, positioned on a solid green background.

- 2019年3月期第2四半期は**減収減益決算**
- 通期の業績予想は**据え置き**
- 映像装置の収益構造改革は**概ね順調に推移**

- I. 第2四半期業績概況
- II. 今後の見通し
- III. 参考資料

決算発表のポイント

売上高は前年同期比3.1%減の826億円
営業利益は前年同期比5.0%減の53億円となり**減収減益決算**

通期公表値に対する進捗率：売上高45.9%、営業利益42.9%

売上高 : 826億円（前年同期比▲26億円、▲3.1%）

装置事業：光学装置は電子デバイス関連の露光装置販売が堅調に推移し増収
映像装置は前年同期の特定案件減少により減収

光源事業：前年同期の特定案件減少や固体光源化（LD・LED）の影響を受け減収

営業利益 : 53億円（前年同期比▲2億円、▲5.0%）

減収に伴い減益。映像装置を中心にコスト削減を実施

親会社株主に帰属する

四半期純利益 : 35億円（前年同期比▲47億円、▲57.7%）

前年同期は、特別利益「厚生年金基金代行返上益（60億円）」を計上

為替感応度：1円変動による影響額（通期）

※為替平均レート（FY18）：1USDドル=109円

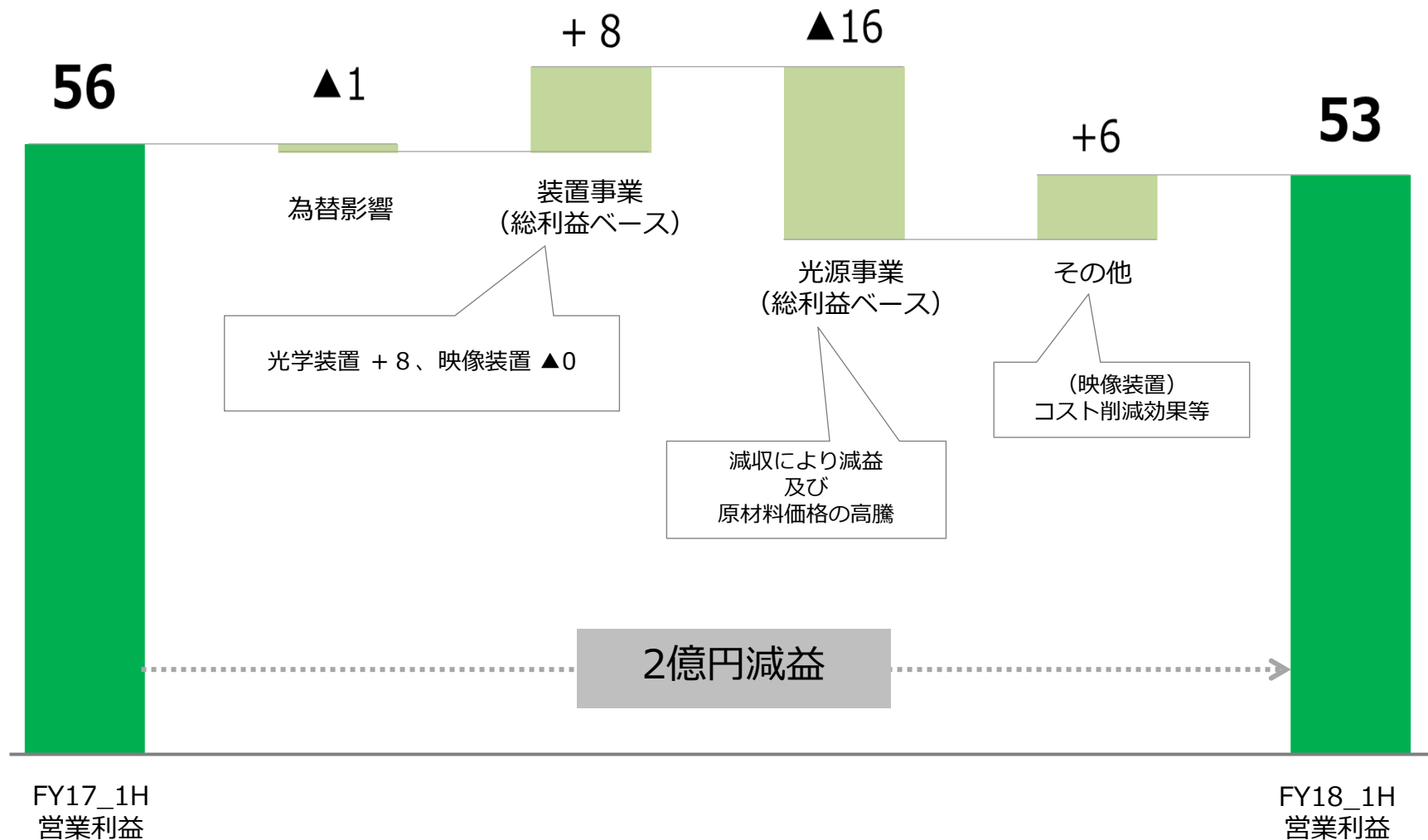
	売上高	営業利益
対USD	約10億円	約1.5億円

売上高・損益

単位：億円		FY17 1H	FY18 1H	前年同期比	
				増減	%
売上高		852	826	▲26	▲3.1
営業利益		56	53	▲2	▲5.0
営業利益率(%)		6.6	6.5	▲0.1P	-
経常利益		70	72	+2	+3.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益		82	35	▲47	▲57.7
EPS (円)		64.94	27.46	▲37.47	▲57.7
為替レート (円)	USD	111	109	▲2	-
	EUR	126	130	+4	-

前年同期比 営業利益増減分析

単位：億円



注：「装置事業（総利益ベース）」、「光源事業（総利益ベース）」、「その他」 は「為替影響」を除いた金額。

セグメント別 売上高、営業利益、営業利益率

単位：億円		FY17 1H	FY18 1H	前年同期比	
				増減	%
装置事業	売上高	467	466	▲0	▲0.2
	営業利益	0	1	+1	-
	営業利益率 (%)	0.0	0.4	+0.4P	-
光源事業	売上高	369	345	▲24	▲6.6
	営業利益	54	48	▲6	▲11.2
	営業利益率 (%)	14.9	14.1	▲0.7P	-
その他	売上高	15	14	▲1	▲7.2
	営業利益	0	0	▲0	▲45.9
	営業利益率 (%)	5.6	3.3	▲2.4P	-
全社・消去	営業利益	0	2	1	+327.2

注：売上高は外部顧客への売上高を記載、営業利益率は外部顧客売上高に対する営業利益率

事業環境

エレクトロニクス分野

半導体・電子部品関連市場

- ・IoTや5G、車載の進展による各種電子デバイス向け需要は堅調
- ・スマートフォンの小型化・高機能化に向けた電子デバイス需要は堅調
- ・M-SAP関連の需要は一服感あり

FPD関連市場

- ・中小型パネルは、液晶からOLEDへ移行も一服感あり
- ・大型パネルは、液晶を中心に設備投資需要増加

ビジュアルイメージング分野

シネマ分野

- ・中国で映画館の新設が続くも、全世界の年間新設数は鈍化傾向
- ・中国市場では、新設映画館の半数以上が固体光源タイプのプロジェクターを採用
- ・シネマプロジェクターの光源部分の置き換えが継続（ランプ→固体光源）

一般映像分野

- ・エンターテインメント向けで映像ニーズが増加傾向

データプロジェクター分野

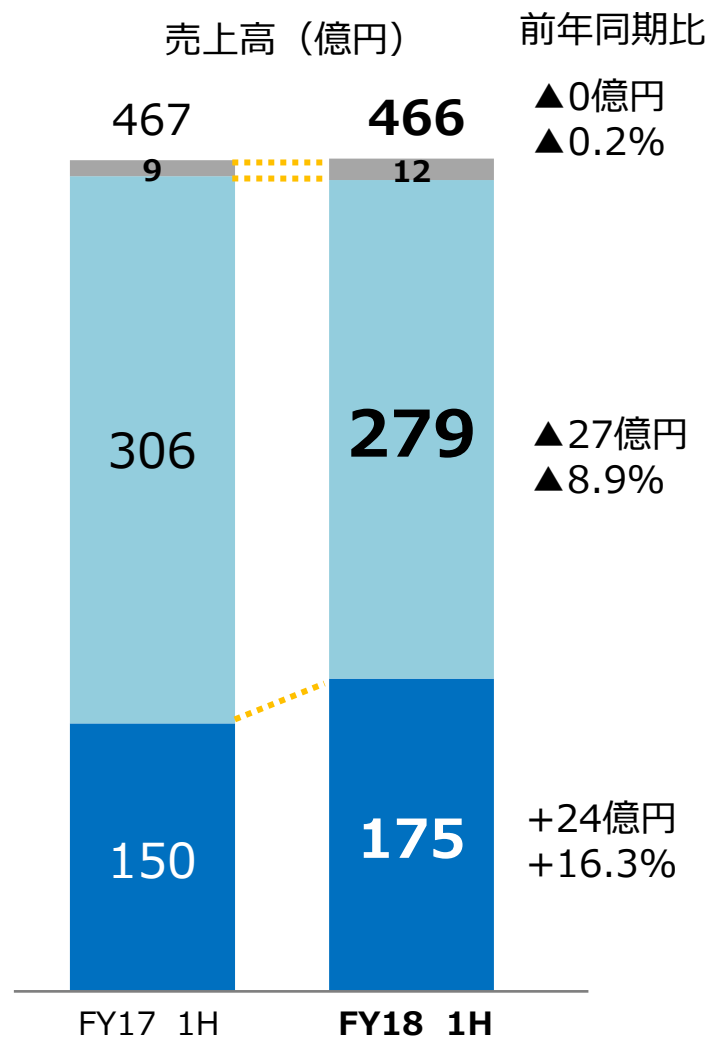
- ・市場における高輝度プロジェクターに採用される固体光源の割合増加

共通

米中貿易摩擦の影響は軽微も今後は不透明

セグメント別 概況 (1)

■ 装置事業



注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

事業概況 (1 H)

映像装置

シネマ：▲8%

- ・ DCPの販売台数は前年同期比で減少
- ・ 高単価のRGBレーザープロジェクターの割合増加

一般映像：▲9%

- ・ 前年同期のソリューション案件の売上減少

光学装置

UV装置 +18%

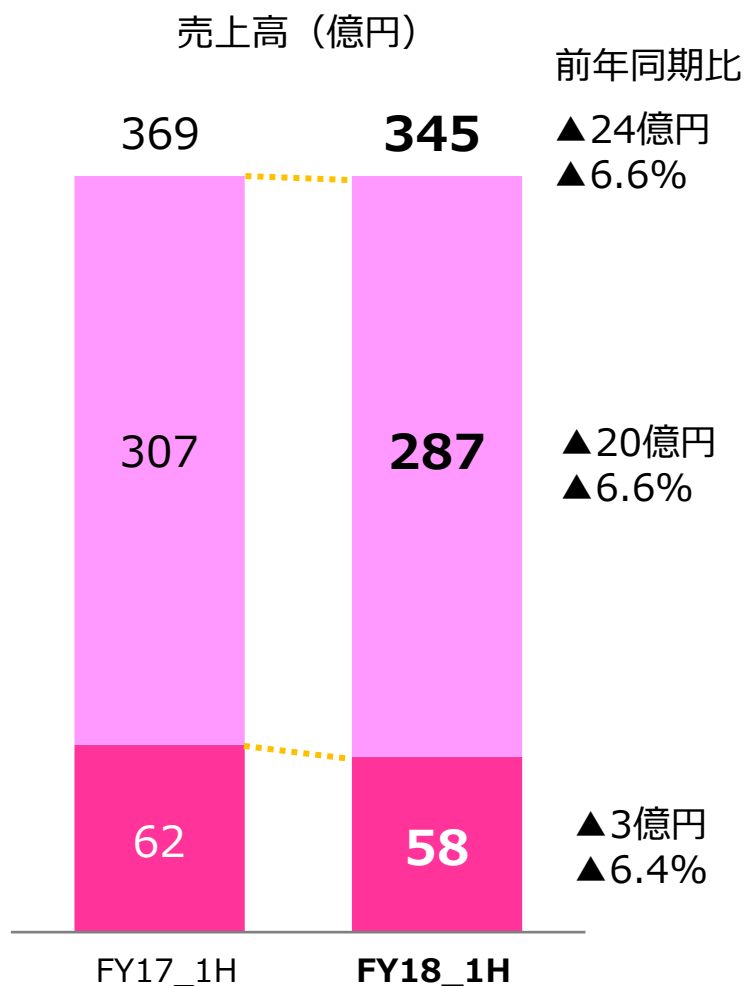
- ・ 前期に拡大したM-SAP向け直描式露光装置の需要に一服感あり
- ・ スマートフォンを中心とした電子デバイス向け投影露光装置の販売増加

キュア装置 +24%

- ・ 光配向装置の販売台数減少
- ・ 大型パネル向けに液晶関連装置の販売増加

セグメント別 概況（2）

光源事業



注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

事業概況（1H）

放電ランプ

UVランプ° + 0%

- ・前期に拡大したOLED関連は投資抑制の影響で減少
- ・大型パネル向けの需要増加

シネマ用ランプ° ▲6%

- ・中国での固体光源化の影響が継続し、ランプ需要減少

データプロジェクター用ランプ° ▲20%

- ・前年同期に特定ユーザーで採用拡大したものが減少
- ・市場での固体光源化が進みランプ需要減少

ハロゲンランプ

OA用ランプ° ▲6%

- ・一部ユーザーへの納入遅れによる減少

-
- I. 第2四半期業績概況
 - II. 今後の見通し
 - III. 参考資料

通期公表値

通期公表値は変更なし

下期は不透明な事業環境があるものの通期予想は変更せず

単位：億円		FY18 1H	通期 公表値	進捗率 (%)
売上高		826	1,800	45.9
営業利益		53	125	42.9
営業利益率 (%)		6.5	6.9	-
経常利益		72	140	51.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益		35	115	30.5
EPS (円)		27.46	90.04	30.5
為替レート (円)	USD	109	105	-
	EUR	130	125	-

サブセグメント別見通し

単位：億円

		FY18 通期計画	FY18 1H	進捗率 (%)	2H予想	
売上高	装置事業	映像装置	600	279	46.6	<ul style="list-style-type: none"> ・DCPは年末商戦に向け増加の見込み ・RGBレーザープロジェクターは拡大傾向 ・収益構造改革は継続
		光学装置	375	175	46.7	<ul style="list-style-type: none"> ・M-SAP関連の投資回復は遅れる見込み ・電子デバイス関連等の需要は堅調に推移するものの、一部で期ズレの可能性あり ・EUV関連の売上は予定通り下期に計上予定
		照明装置他	15	12	80.2	
		小計	990	466	47.1	
	光源事業	放電ランプ	645	287	44.5	UVランプ <ul style="list-style-type: none"> ・大型パネル向けの需要は引き続き堅調 ・OLED関連の需要が低調に推移する懸念あり シネマ用ランプ <ul style="list-style-type: none"> ・固体光源化の影響が長引く懸念あり
		ハロゲンランプ	125	58	46.5	OA用ランプ <ul style="list-style-type: none"> ・市場ニーズに合致した高付加価値製品の販売割合は増加見込み
		小計	770	345	44.8	
	その他	産業機械他	40	14	35.5	
	合計		1,800	826	45.9	

-
- I. 第2四半期業績概況
 - II. 今後の見通し
 - III. 参考資料

四半期推移《損益》

単位：億円

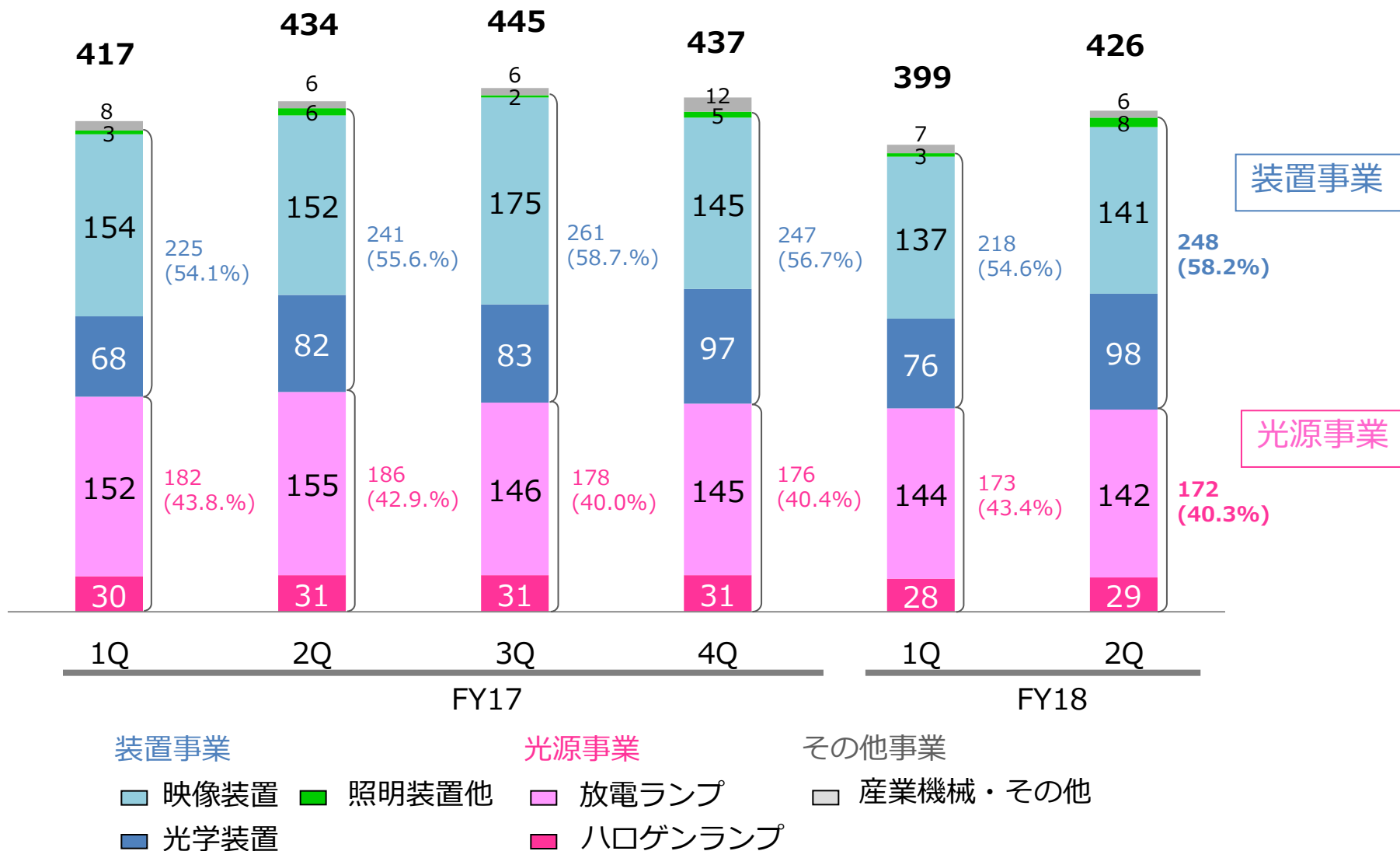
	FY17				FY18		FY18 2Q - FY17 2Q		FY18 2Q - FY18 1Q	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	増減	%	増減	%
売上高	417	434	445	436	399	426	▲8	▲1.9	+27	+6.8
営業利益	28	28	29	15	25	28	▲0	▲0.4	+2	+10.9
営業利益 (%)	6.7	6.5	6.6	3.6	6.4	6.6	+0.1P	-	+0.2P	-
経常利益	39	30	37	12	39	32	+1	+6.3	▲6	▲17.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	65	17	2	24	22	12	▲4	▲28.1	▲10	▲44.6
EPS (円)	51.32	13.62	1.63	19.55	17.67	9.79	▲3.83	▲28.1	▲7.88	▲44.6
為替レート (円)										
USD	111	111	113	110	108	111	-	-	+3	-
EUR	122	130	132	134	130	129	▲1	-	▲1	-

四半期推移《セグメント別》

単位：億円	FY17				FY18		FY18	FY17	FY18	FY18
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	2Q	2Q	2Q	1Q
							増減	%	増減	%
装置事業										
売上高	225	241	261	247	218	248	+6	+2.7	+29	+13.7
営業利益	0	▲0	4	▲9	0	1	+2	+811.6	+1	-
営業利益率 (%)	0.2	▲0.1	1.6	▲3.7	0.0	0.7	+0.8P	-	+0.7P	-
光源事業										
売上高	182	186	178	176	173	172	▲14	▲7.8	▲1	▲0.7
営業利益	26	28	24	24	25	23	▲5	▲18.9	▲2	▲9.8
営業利益率 (%)	14.4	15.3	14.0	13.8	14.8	13.4	▲1.8P	-	▲1.4P	-
その他										
売上高	8	6	6	12	7	6	▲0	▲6.0	▲1	▲20.9
営業利益	0	0	0	0	0	0	+0	+7.0	▲0	▲6.1
営業利益率 (%)	7.6	3.2	5.4	0.7	3.0	3.6	+0.4P	-	+0.6P	-

四半期推移 《サブセグメント別売上高》

単位：億円



四半期推移 《営業外収支》

単位：億円	FY17				FY18		FY18	FY17	FY18	FY18
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	2Q -	2Q	2Q -	1Q
							増減	%	増減	%
営業外収益	13	5	13	4	15	6	+1	+24.2	▲8	▲58.3
受取利息	2	3	2	4	4	4	+0	+29.0	+0	+8.1
受取配当金	6	0	6	0	6	0	+0	+91.5	▲6	▲96.2
売買目的有価証券運用益	1	0	2	▲1	0	0	▲0	▲15.5	+0	+95.3
特定金銭信託運用益	0	0	0	▲0	0	0	▲0	▲29.4	+0	+240.7
その他	1	0	0	2	4	0	+0	+88.3	▲3	▲79.4
営業外費用	1	2	4	8	1	1	▲0	▲31.8	+0	+47.9
支払利息	1	1	1	2	0	1	+0	+14.9	+0	+51.1
為替差損	0	1	2	4	-	-	▲1	▲100.0	-	-
その他	0	0	0	1	0	0	+0	+236.4	+0	+38.3
営業外収支	11	2	8	▲3	14	4	+2	+78.6	▲9	▲67.1

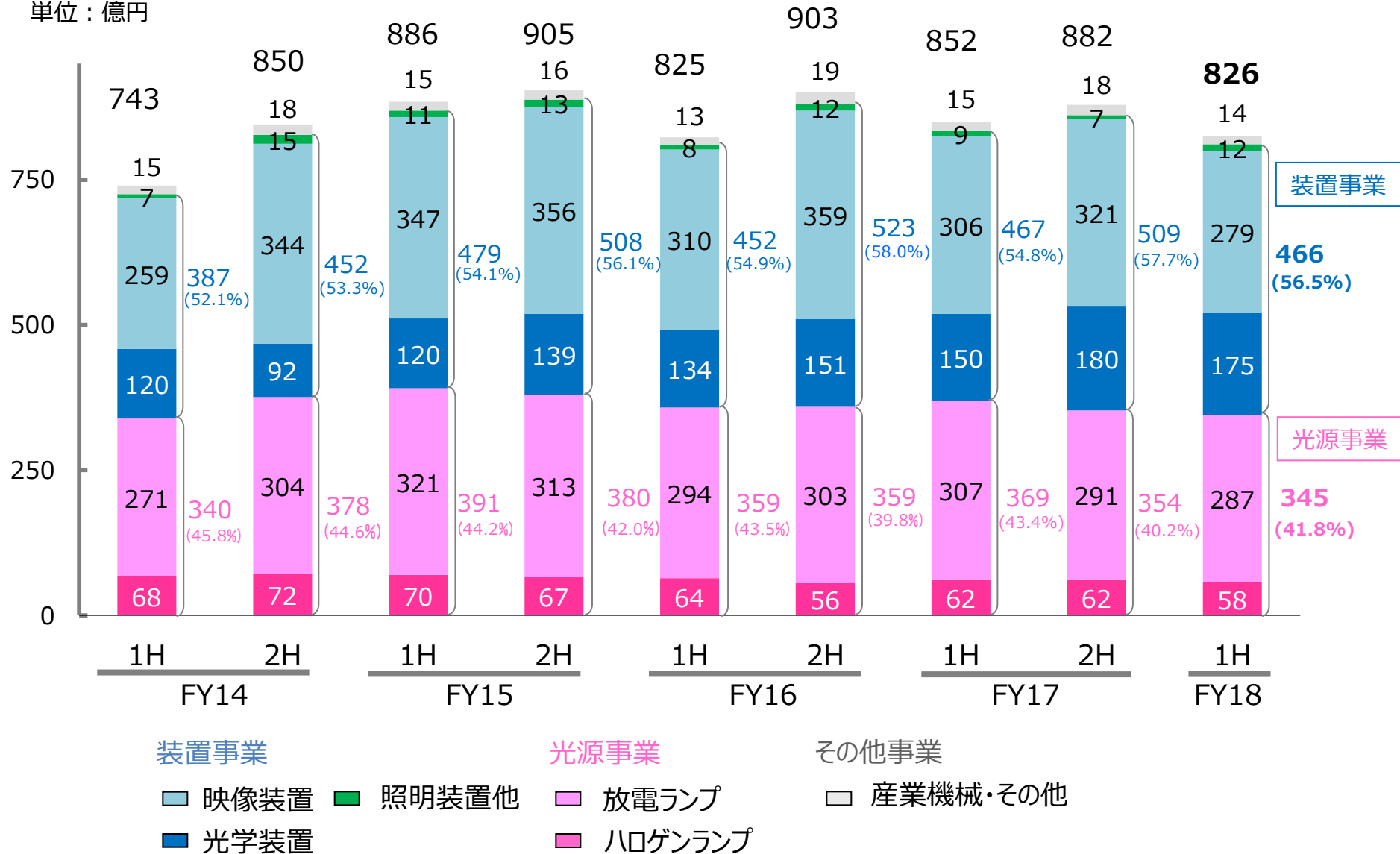
四半期推移 《特別利益／特別損失》

単位：億円

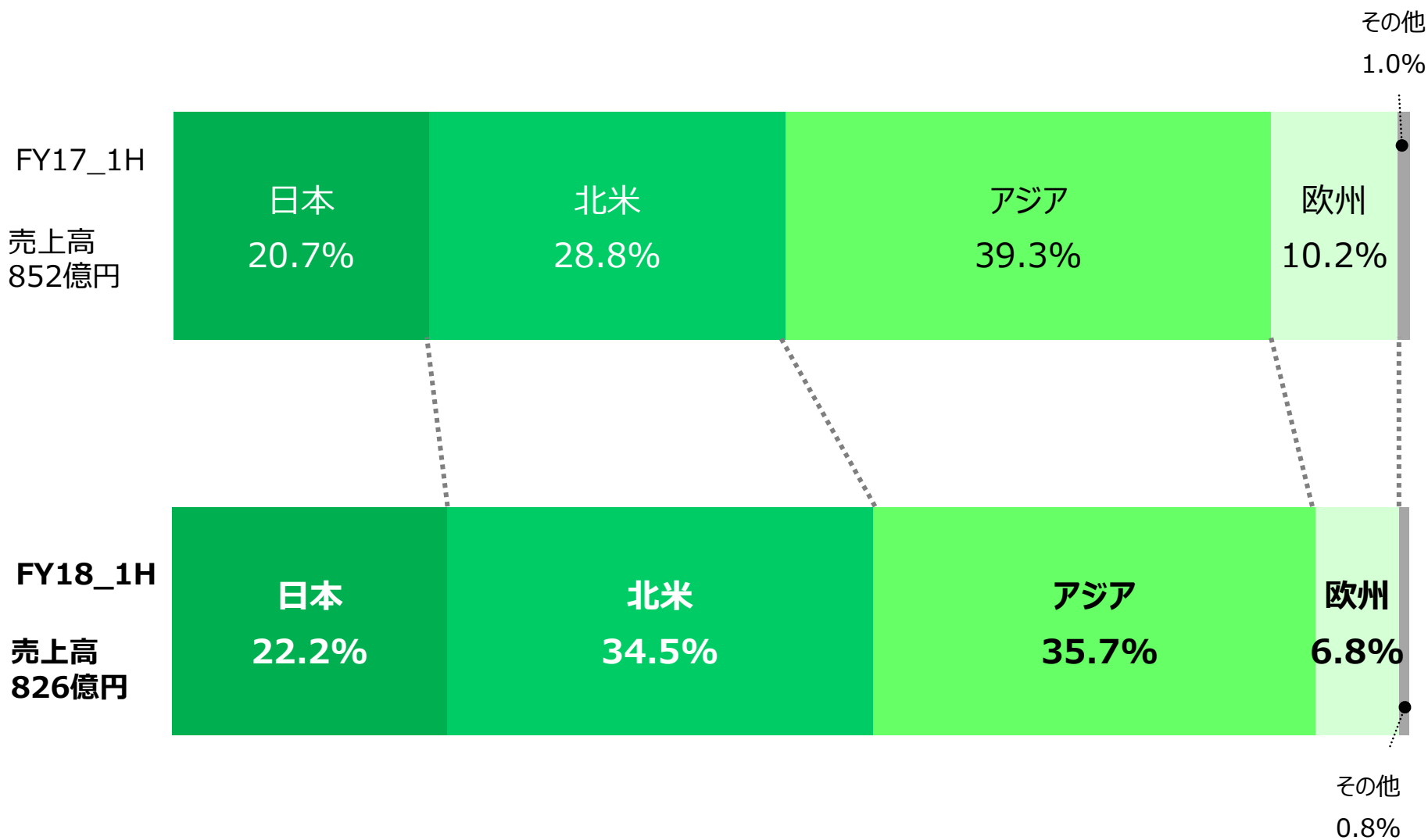
	FY17				FY18		FY18 2Q	-	FY17 2Q	FY18 2Q	-	FY18 1Q
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	増減		%	増減		%
特別利益	62	0	10	52	0	0	+0		-	▲0		▲95.1
固定資産売却益	1	0	0	2	0	0	▲0		▲61.0	▲0		▲95.1
投資有価証券売却益	0	▲0	9	49	-	-	+0		+100.0	-		-
厚生年金基金 代行返上益	60	0	-	-	-	-	▲0		▲100.0	-		-
特別損失	0	7	2	19	7	9	+1		+23.4	+1		+23.9
固定資産除却損	0	1	0	1	0	0	▲1		▲93.0	▲0		▲57.6
特別退職金	0	2	1	0	-	-	▲2		▲100.0	-		-
退職給付制度改定損	-	-	-	-	-	0	-		-	▲0		▲100.0
事業構造改善費用	-	-	-	-	6	6	+6		-	▲0		▲3.5
減損損失	-	1	-	17	-	-	▲1		▲100.0	-		-
関係会社株式売却損	-	1	-	-	-	-	▲1		▲100.0	-		-
その他	0	0	0	0	0	2	+2		+506.5	+2		-

半期推移 《サブセグメント別売上高》

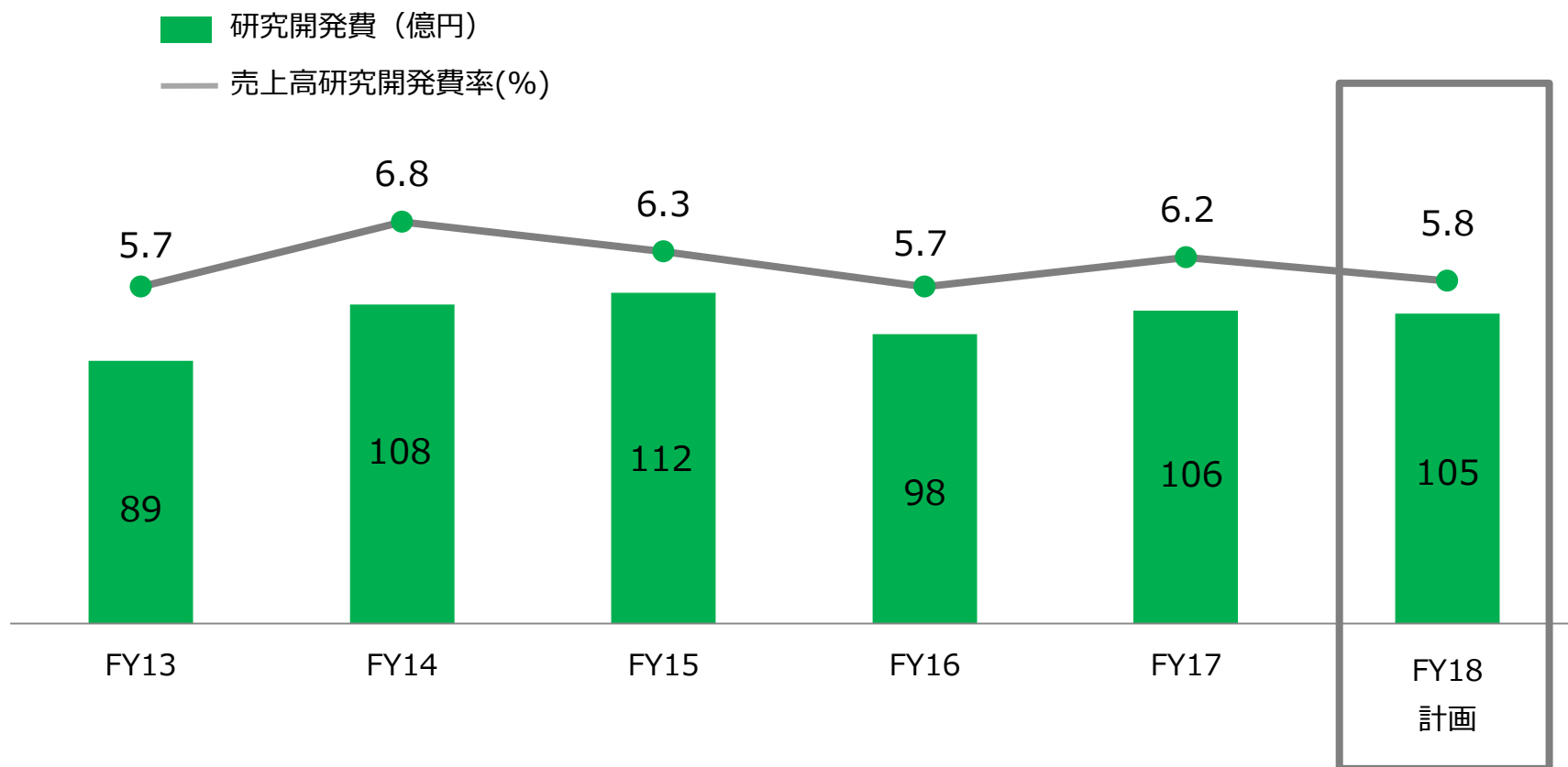
単位：億円



地域別売上高比率



研究開発費



単位：億円

	FY17 1H	FY18 1H	前年同期比	
			増減	%
研究開発費	50	51	+0	+1.9
売上高研究開発費率(%)	5.9	6.2	+0.3P	-

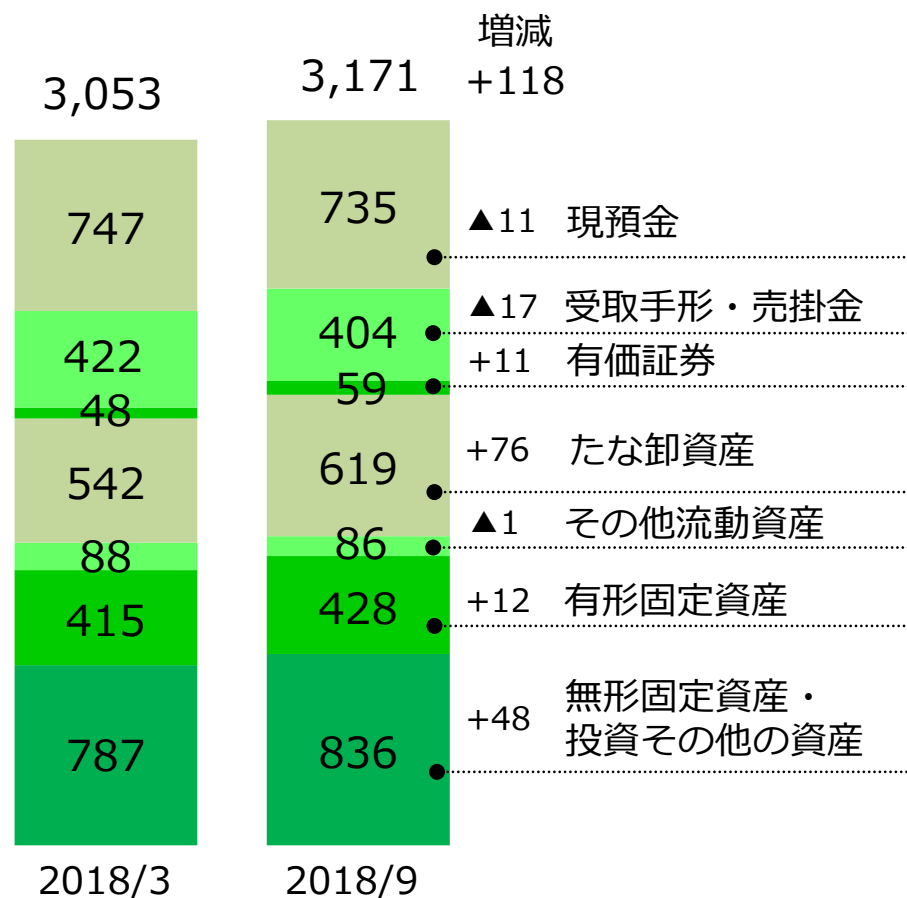
営業外収支、特別利益/特別損失

単位：億円	FY17 1H	FY18 1H	FY18 1H - FY17 1H	
			増減	%
営業外収益	18	21	+3	+18.5
受取利息	6	8	+2	+33.0
受取配当金	7	7	+0	+0.6
売買目的有価証券運用益	2	1	▲1	▲59.4
特定金銭信託運用益	0	0	▲0	▲58.9
その他	1	4	+3	+213.7
営業外費用	4	2	▲1	▲35.5
支払利息	2	2	▲0	▲5.7
為替差損	1	-	▲1	▲100.0
その他	0	0	+0	+130.9
営業外収支	13	18	+4	+36.0

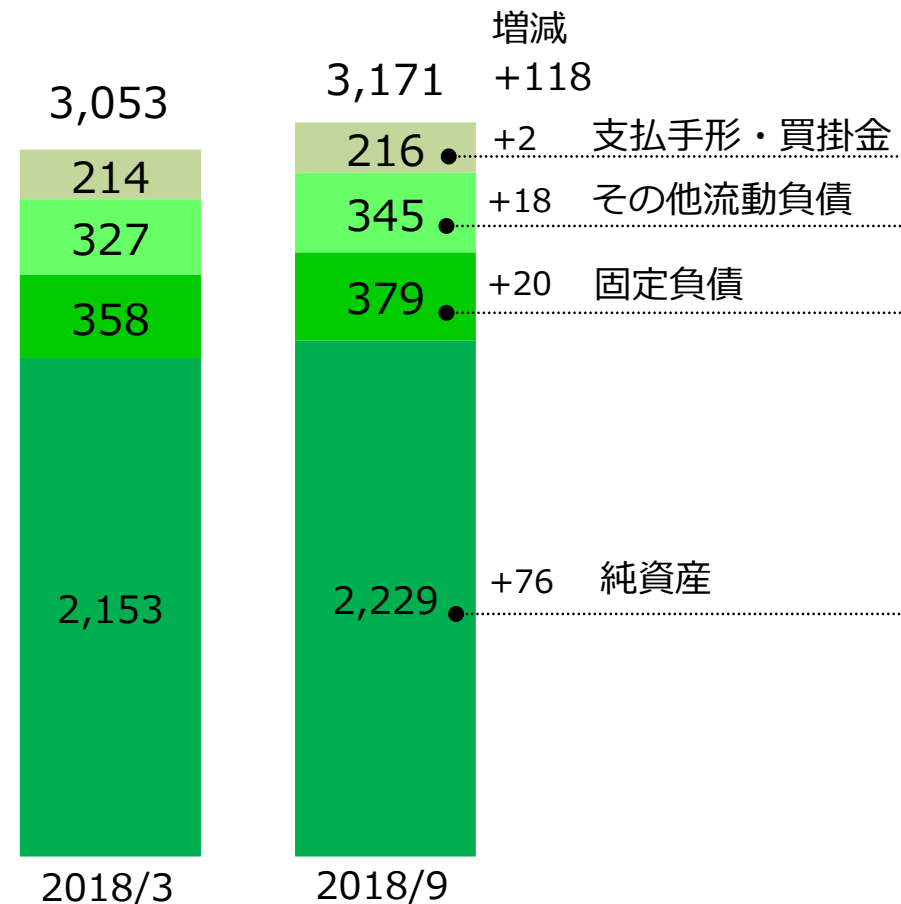
単位：億円	FY17 1H	FY18 1H	FY18 1H - FY17 1H	
			増減	%
特別利益	62	0	▲61	▲98.9
固定資産売却益	1	0	▲1	▲60.5
投資有価証券売却益	0	-	▲0	▲100.0
厚生年金基金代行返上益	60	-	▲60	▲100.0
特別損失	7	16	+8	+110.7
固定資産除却損	1	0	▲1	▲77.0
特別退職金	2	-	▲2	▲100.0
退職給付制度改定損	-	0	+0	-
事業構造改善費用	-	13	+13	-
減損損失	1	-	▲1	▲100.0
関係会社株式売却損	1	-	▲1	▲100.0
その他	0	2	+2	+456.6

貸借対照表

◆ 資産 (億円)



◆ 負債・純資産 (億円)

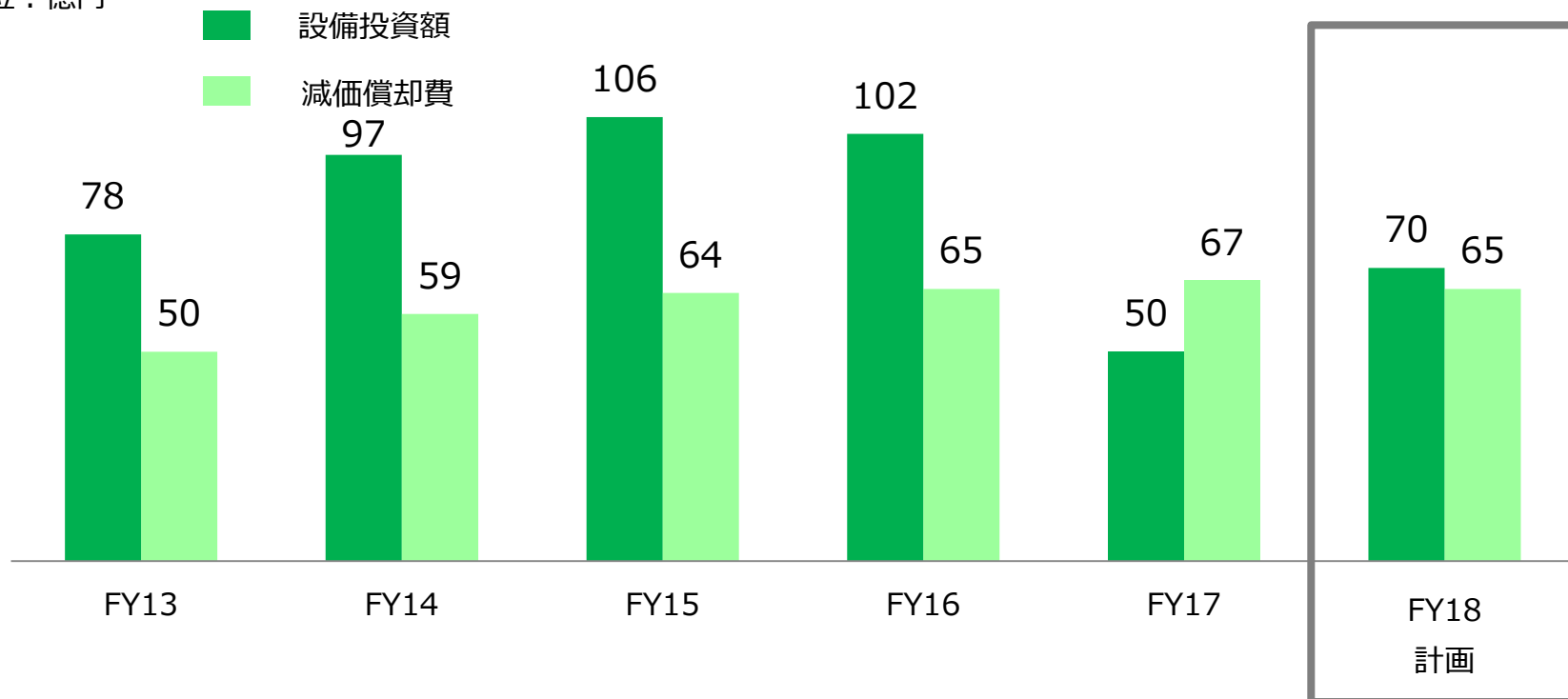


●回転月数 (ヶ月)	2018/3	2018/9
売上債権	2.9	3.0
たな卸資産	3.7	4.2

●自己資本比率 (%)	2018/3	2018/9
	70.4	70.3

設備投資額・減価償却費

単位：億円



単位：億円

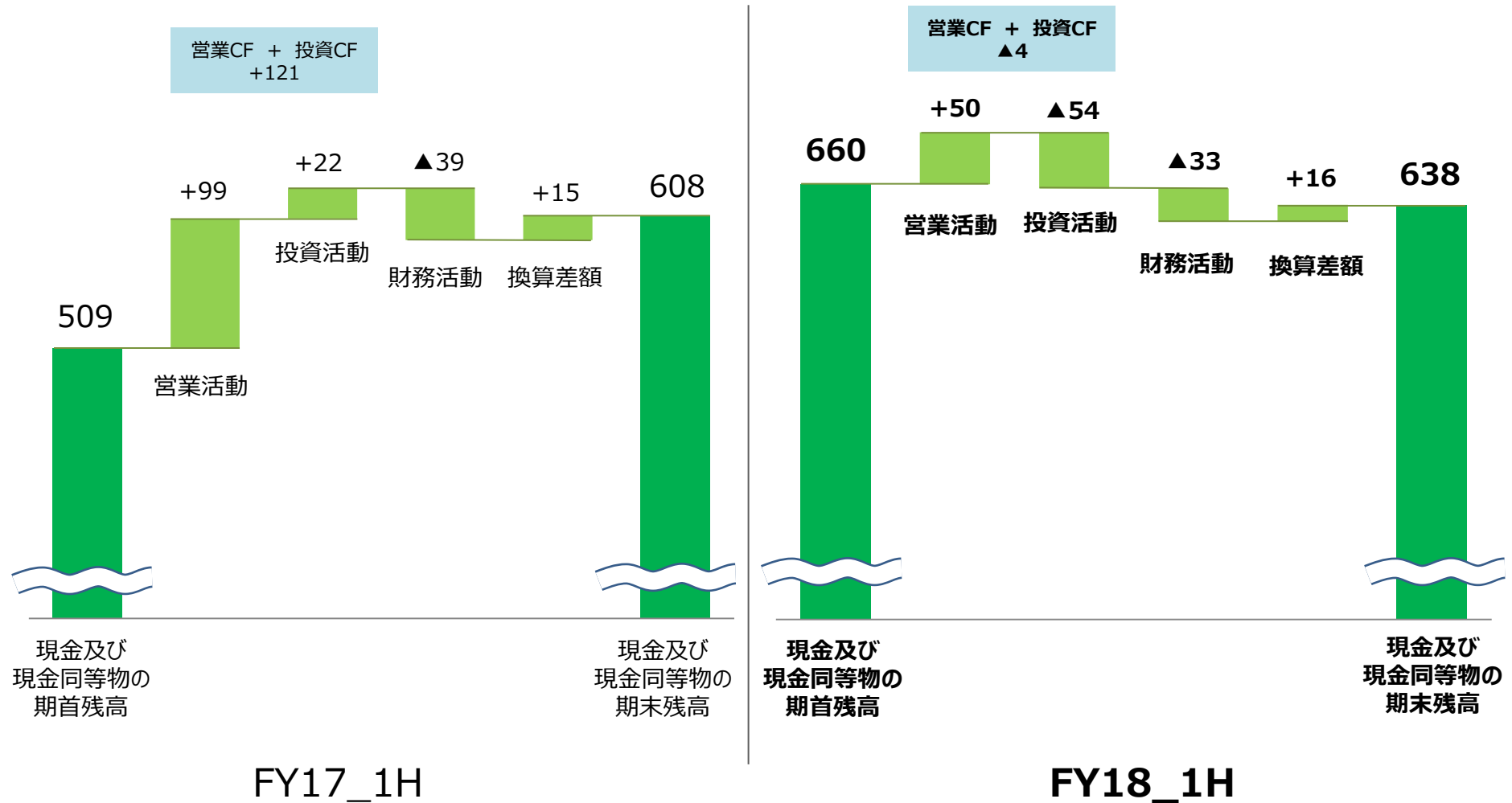
	FY17 1H	FY18 1H	前年同期比	
			増減	%
設備投資額	23	33	+10	+45.3
減価償却費	33	33	▲0	▲0.8

注1. 設備投資額は「有形固定資産」+「無形固定資産」。ただし、「のれん」は除く。

注2. 設備投資額に含まれない「のれん」増加額 FY17_1H：2億円、FY18_1H：5億円

キャッシュフロー

単位：億円



ウシオグループ プロジェクター光源別特徴

	ランププロジェクター		レーザープロジェクター		
光源	超高圧 UVランプ	クセノン ランプ	蛍光体 レーザー	RGBレーザー (CP-RGBシリーズ)	RGB レーザー
クリスティ ラインナップ	 各種プロジェクター (3LCD/1DLP/3 DLP)	 CPシリーズ Roadie 他	 Crimson シリーズ	 CP4325-RGB* CP2320-RGB* CP2315-RGB* 発売中 CP4335-RGB 2018年後半 リリース予定	 ノン ドルビー プロジェクター (CP42LH EWD /6P) ドルビー ビジョン プロジェクター (E3LH)
明るさ (lm)	<30,000	<45,000	<30,000	<23,000 <35,000	<60,000
用途	■一般映像 (オフィス、ホームシア ター、教室、ホール、 イベント会場など)	■シネマ ■一般映像 (ホール、イベント会場 など)	■ノンシネマ ■一般映像 (ホール、イベント会 場など)	■シネマ	■プレミアムシネマ (ドルビーシネマなど) ■一般映像 (産業用VR、テーマパークの アトラクションなど)
本体価格	低	中	中	中-高	高
本体寿命	中**	中-長**	中	長	長
色	△○	○	△	◎	◎

* 業界初、最軽量・ハイクオリティのRGBレーザープロジェクター

** ランプ交換が必要。 ランププロジェクターの中で、一般映像用の水銀ランプ、シネマ用のクセノンランプは、
蛍光体レーザープロジェクターよりも寿命が長いことがあります。

統合レポート発行に関するお知らせ

2018年10月5日、当社にとって初めての統合レポートである「USHIO Report 2018」を発行しましたのでお知らせいたします。

当社では、統合レポートをすべてのステークホルダーの皆さまとの新たなコミュニケーションツールとして、当社が考える「重要性」「簡潔性」および「持続性」に重点をおき制作を行いました。ウシオは1964年の創業以来、「未来は『光』でおもしろくなる」をキーワードに、「光」の特性に着目し、「光」をあかりとしてだけでなく、紫外線をエネルギーとして、赤外線を熱エネルギーとして利用することで、多くの世の中の技術革新に貢献してきました。USHIO Report 2018を通じて、技術革新に貢献している当社のユニークな価値創造モデルと、持続的成長を成し遂げてきたウシオの魅力を感じていただくとともに、今後のウシオの成長に期待をしていただけたら幸いです。

USHIO

USHIO Report 2018
2018年3月期

未来は「光」でおもしろくなる



用語集

DCP	Digital Cinema Projector	デジタルシネマプロジェクター
EUV	Extreme Ultraviolet Radiation	極端紫外放射（極紫外放射）
FPD	Flat Panel Display	フラット・パネル・ディスプレイ
IoT	Internet of Things	モノのインターネット
M-SAP	Modified Semi Additive Process	エムサップ
OA	Office Automation	オフィスオートメーション
OLED	Organic Light Emitting Diode	有機EL
RGB	Red Green Blue	赤 緑 青
UV	Ultraviolet	紫外
5G	5 th Generation	第5世代移動通信システム

USHIO

本資料に関するお問い合わせ先
ウシオ電機（株）経営企画部
(03) 5657-1007
ir@ushio.co.jp
<http://www.ushio.co.jp/jp/>